

# 深秋

秋の深まった時期を指す言葉。秋の最も終わりに近い頃で、成熟した秋の様子を感じさせます。深秋を感じ、冬を意識します。



今回、京都付近への台風接近も少なく、毎年実施している台風対策も本格的な対策は一度きりで済み、台風によるダメージはほぼ受けることなく終わられ、秋を迎えられました。

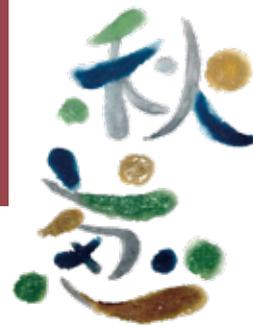
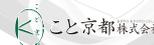
古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

# ことわざだより

NO.210

2024年11月号

TEL: 075-601-0668



## 今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

## 夏の季節を越えた強者、秋葱のお届け

9月頃にカット収穫を行い、2か月ほど経った残暑の中で再び伸びてきた、美山・丹後で育った葱たちがメインになります。

10月上旬頃までは秋を待ち遠しく思いつつ過ごす日々でしたが、ようやく冬に向けて移り変わりゆく時期になりました。

雨不足の中でも、農人たちが葱のために育ちやすい環境づくりを行い、生育サポートして育てた秋葱たち。厳しい自然環境の中でも、こうして立派に、すらっと綺麗に伸びる葉を見て、嬉しい思いを馳せつつ、皆さまのもとへお届けします。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信



今年もひまわり緑肥栽培を行い、珍しい秋のひまわりに。

## 束の間の秋、これからの冬に向けて

9月も残暑が続き、そろそろ落ち着くかと思っていた10月上旬頃まで日中暑く感じる日がありました。秋の季節が、なんだか早く過ぎ去ってしまいそうだなと畑で感じます。

10月に入り、ようやくまとまった雨が降り、農人たちにとっては本当の意味での「恵みの雨」となりました。気温も比較的落ち着き、ねぎたちにとっても生育適温となったことで、伸び悩んでいた心配していましたが、ようやく目に見えて生育を実感できるようになってきました。

ただ、夏場の暑さで根にダメージを受けたねぎも多く見受けられ、なかなか根から栄養分を吸収できず、思いのほか伸びていないねぎがあります。そういったねぎたちには、農人たちが葉から栄養分を与えるべく、追肥（葉面）を行い、成長のサポートを行っています。

とある日の農人日記。

ひまわりが無事に開花。地域の方や SNS を通じて鑑賞に来られた方が数名おられました。ひまわり栽培をきっかけに土壌改良における収量増加、こと九条ねぎを知ってもらうきっかけになればいいと思います。（京都市内・池島）



こと京都は「野菜を食べてよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組めます。